

単元名 九九の表とかけ算

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 10のかけ算, 0のかけ算の意味を理解し, 計算することができる。
 (2) かけ算のきまりを用いて, 10や0のかけ算の仕組みなどを考えることができる。
 (3) 九九表からきまりを見付け, それを進んで計算に用いようとする。

標準的な展開例

03040102_001

【準備等】九九の表の拡大図

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 九九の表に興味をもち, 数の並び方のきまりを見付ける [p. 10・p. 11]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 乗法九九を唱える。 ○ かくれた数を乗法のいろいろなきまりを使って考える。 <p>○ 九九の表を見て気付いたことを発表する。</p> <p>○ 単元の学習課題をつかむ。</p> <p>★ 九九の表を使って, かけ算についていろいろ調べていこう。</p> <p>○ 九九の表を使って, 数当てゲームをする。</p> <p>2 (1位数)×10, 10×(1位数), 10×10の計算をする。 [p. 12]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「おはじき入れ」で入った個数を表を基に確かめる。 ○ 結果を表に整理する。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 10のかけ算の答えのみつけ方を考えよう。 ○ 3×10の答えについて考える。 ○ 10×3の答えについて考える。 ○ 「練習問題」に取り組む。 <p>3 (1位数)×0, 0×(1位数), 0×0の計算をする。 [p. 13]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 0のかけ算の答えのみつけ方を考えよう。 ○ 5×0の答えについて考える。 ○ 0×2の答えについて考える。 ○ 0×(1位数), (1位数)×0, 0×0についてまとめる ○ 「練習問題」に取り組む。 <p>4 九九の式から, かけられる数やかける数を見付ける。 [p. 14・p. 15]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 九九表を見て $6 \times \square = 24$, $\square \times 7 = 21$ の, \square に当てはまる数を考える。 ○ 九九表を見ないで \square に当てはまる数を見付ける方法を考える。 ○ \square に当てはまる数の見付け方を発表する。 ○ 「練習問題」に取り組む。 ○ 昔の九九の表を見て, 昔と今の九九の違いを話し合う。 <p>5 単元を振り返り, 練習問題に取り組む。 [p. 16～p. 18]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「たしかめよう」に取り組む。 ○ 学習の振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 九九の表を用いて九九の復習をしながら, 被乗数と乗数の関係やきまりなどを確かめる。 ・ 乗数が1ずつ増減するときの積の変化に着目して考えさせたり, 交換法則で考えさせたりする。 【評】乗法のきまりを見付ける活動を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する ・ p. 18「九九のまど」を活用させるとよい。 ・ 累加の考えを活用し, 九九の範囲から出たかけ算について扱う。 ・ ことばの式と関連付けるため, 点数とその入った個数を確認させる。 ・ 言葉の式で (点数) × (入った個数) = (得点) となることを確認させる。 ・ 3×9 と比較させ, 右に1つ移ると3増えることから $3 \times 10 = 3 \times 9 + 3$ の考え方を確認させる。 【評】3×10の答えを考える活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 10円玉などを使って累加の方法で考えさせたり, 交換法則を使って考えさせたりする。 ・ 乗数, 被乗数の一方が0の場合も乗法が用いられることを確認する。 ・ $5 \times 0 = 5 \times 1 - 5$ と考えて0になることを確認させる。 ・ 0の2つ分と考えて0になることを確認させる。 ・ 九九の表を使って, 答えが0になる理由を理解させる。 【評】式に0のあるかけ算を解く活動を通して「知識・技能」を評価する。 ・ $6 \times \square = 24$, $\square \times 7 = 21$ などの問題を九九の表から調べさせるとよい。 ・ p. 18の九九表を使って, \square に当てはまる数字を確認する。 【評】\square に当てはまる数を見付ける活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 何の段の九九を使って見付けたかを説明の根拠にさせる。 ・ 個別指導を通して, 単元の学習内容の定着を図る。 ・ 自己評価をし, 不十分なところは教科書で振り返らせる。 【評】問題に取り組む活動を通して, 「知識・技能」を評価する。 ・ 九九を使って分かったことやできるようになったこと, もっとやってみたいことなどを書かせる。

【 備 考 】

本単元では、第2学年で学習した九九の表を利用して乗数の増減に伴う積の変化や、10と0のかけ算を学習する。10のかけ算では乗数を1つずつ増やし、積が被乗数分ずつ増えることから理解させる。0のかけ算では乗数を1つずつ減らし、積が被乗数分ずつ減ることから理解させる。また、乗法の乗数や被乗数を求める学習においても九九の表から乗法の交換法則を利用し求めさせる。